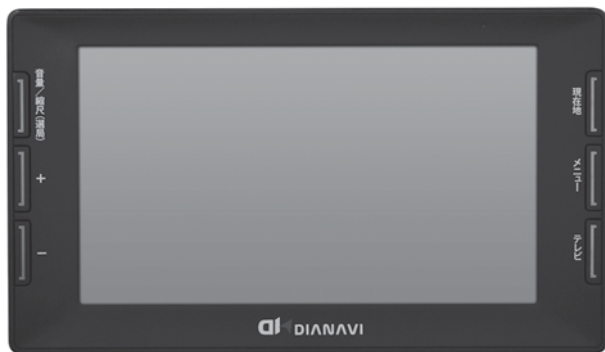
DIANAVI

7インチフルセグナビゲーション

取扱説明書 兼 保証書

DNK-7500

マップソフトの操作については別冊「マップマニュアル」をご覧ください。

nPLACE Co.,Ltd.

2014/10

6. 機能紹介

7. 設定

8. トラブルシューティング

＊本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

安全上の注意

このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、安全上の注意をよくお読みの上、正しくご使用ください。

この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への人的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守っていただくようお願い致します。

■ 次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、「注意」しなければならない内容です。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

長時間、高温・直射日光にさらされる場所や湿度の高い場所への設置、車内への放置は故障の原因となります。使用しない場合は必ずスタンドごと外して保管してください。

⚠警告

水、湿気、蒸気、ホコリなどが多い場所には設置しないでください。 事故・火災・感電・故障の原因となります。	**本製品は運転操作や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。** 事故・ケガの原因となります。
本製品をエアバッグの動作を妨げる場所には絶対取り付けないでください。 事故・ケガの原因となります。	**Micro SDカードを小さなお子様の手の届く所に置かないでください。** 誤って飲み込んだりケガなどの原因になる事がありますのでお子様の近くには置かないようにしてください。
運転中に画面を注視する際、必要最低限の時間で行ってください。 事故・ケガの原因となります。	**画面輝度を適切な明るさに設定して使用してください。** 必要以上に画面を明るくすると夜間の運転時等、事故の原因になる可能性があり危険 です。
大きな音量で使用しないでください。 事故の原因となりますので、クラクションの警告音など車外の音が聞こえる音量で使用してください。	**雷が鳴り出したら本製品やコードに触らないでください。** 落雷による感電の危険があります。
運転中にテレビ、動画を見ないでください。 必ず安全な場所に車を停止させ、パーキングブレーキをかけてから行ってください。	**本製品を濡れた手で触らないでください。** 感電やケガの原因となります。
本製品を医療機器の近くで使用しないでください。 電波により医療機器に悪影響を与えるおそれがあります。心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用の場合、各機器のメーカー、医師に必ずご相談ください。	**本製品が画面が映らない、音が出ない、異常な動作をするなど故障した状態のまま使用しないでください。** ただちに使用を中止して、お買い上げの販売店またはサポートセ ンターまでご連絡ください。事故・火災・感電の原因となります。
実際の交通規制に従って走行してください。 事故・ケガの原因となります。	**走行中は製品の操作をしないでください。** 必ず安全な場所に車を停止させ、パーキングブレーキをかけてから行ってください。
専用フィルムアンテナを取り付ける際はハンドル・ブレーキなどの保安部品を取り付けているボルト・ナットなどには巻き付けないでください。 事故・ケガの原因となります。	**ケーブル類は、運転操作の妨げにならないように、まとめてください。ハンドルやシフトレバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと危険です。** 事故・ケガの原因となります。

本製品を分解・改造したり、衝撃を与えたりしないでください。

火災・感電・故障の原因となります。

使用上の注意

⚠注意

本製品は外国車では使用できない場合があります。

本製品はDC12~24V対応です。ただし、シガーソケットの形状により使用できない場合があります。

本製品を装着するために車を改造することは絶対におやめください。

車の故障や走行中の事故の原因となる可能性があります。

革張りのダッシュボードには絶対に貼り付けないでください。

本製品が確実に固定できなかったり、ダッシュボードに損傷を与える可能性があります。

本製品をフロントガラスに貼り付けないでください。

必ずダッシュボード(樹脂製)に貼り付けてください。

本製品付属のシガーソケット電源アダプター以外は使用しないでください。

火災・感電・故障の原因となります。

シガーソケットの中に異物がないか確認してからシガーソケット電源アダプターを入れてください。

火災・感電・故障の原因となります。

本製品に付属の部品以外は使用しないでください。

指定以外の部品を使用しますと破損したり、正常に設置できずに外れることがあり、危険です。

本製品内部に異物や液体が入らないように気をつけてください。

故障の原因となります。

Micro SDスロットの中に異物がないか確認してからMicro SDカードを入れてください。

火災・感電・故障の原因となります。

運転前に取り付けが正常に行えているか確認をしてください。

走行中に脱落等を起こすと危険です。ネジの緩み等が無いかの確認を必ず行ってください。

運転前にナビ画面の角度調節を行ってください。

走行中に画面の調整を行うと事故の原因となります。

運転中にナビソフトの操作、テレビ視聴、音楽、動画、写真再生などの操作をしないでください。

走行中の事故の原因となる可能性があります。

本製品を拭くときにベンゼン、シンナー、アルコールなどは使用しないでください。

製品に傷がつくことがあります。本製品を拭くときは柔らかい布を使って乾拭きをしてください。

鋭利なものや硬い棒などで本製品を操作しないでください。

火災・感電・故障の原因となります。

適正温度以上の高温ならびに低温で使用しないでください。

本製品は0℃～60℃で正常に動作します。

長時間、高温・直射日光にさらされる場所への設置や車内への放置はしないでください。

故障の原因となります。

GPS信号の正常な受信のため、車内の上方向、前方向に遮蔽物のない位置に本製品を設置してください。

ビルが密集した都心・トンネル・地下道・建物の中・鉄道や道路の高架下・木々の多い森の中・山岳地域などではGPS信号の受信ができません。また、一部の断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入り等）・一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS信号が受信できない場合があります。

ヒューズの交換は規定容量の物を使用し、交換は専門業者に依頼してください。

規定容量を越えるヒューズを使用した場合、火災や故障の可能 性があり危険です。交換の際は専門業者またはサポートセンターにご相談ください。

免責事項／ご使用の前に

【免責事項】

・本製品を使用することによって生じた、直接･間接の損害、データの消失などについては、当社では一切その責任を負いかねます。
・本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器など、人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器での使用は想定されておりません。
このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いかねます。
・ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
・本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
・本製品を使用中に登録したデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
・ナビゲーションの画面に表示される情報や建物･道路などの形状は実際と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
・GPS信号及びテレビ放送の受信感度は、受信される地域、環境により変化します。
正常に受信できない場合、車を移動させて再度お試しください。
・専用取付スタンドが正常に取り付けられていない場合、製品が落ちることがあります。
専用取付スタンドの誤った取り付け方、誤った場所に取り付けたことにより発生する製品ならびに車の異常は当社では一切の責任を負いかねます。
・Micro SDカード内のデータ加工などによるデータ破損･紛失などは当社では一切の責任を負いかねます。Micro SDカードの紛失または使用者の不注意による損傷などは保証対象外となります。当社では一切の責任を負いかねます。
・Micro SDカードの消耗に起因する故障、又は損傷については当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

【ご使用の前に】

・取扱説明書兼保証書及び本製品の仕様に関しましては、改良のため予告なく変更することがあります。
・本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いします。
・本製品を使用することによって生じた、直接･間接の損害、データの消失などについては、当社では一切その責任を負いかねます。
・WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。

内容物

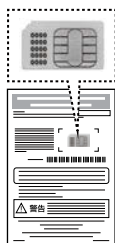
ナビ本体

専用AC電源アダプター

専用シガー電源アダプター
（DC12V～24V）

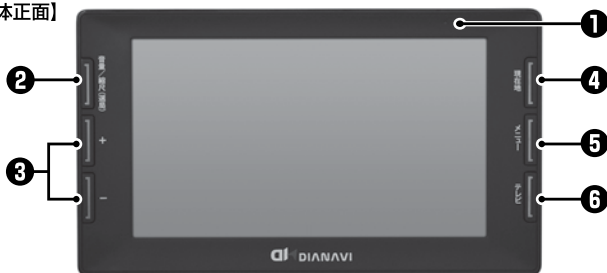
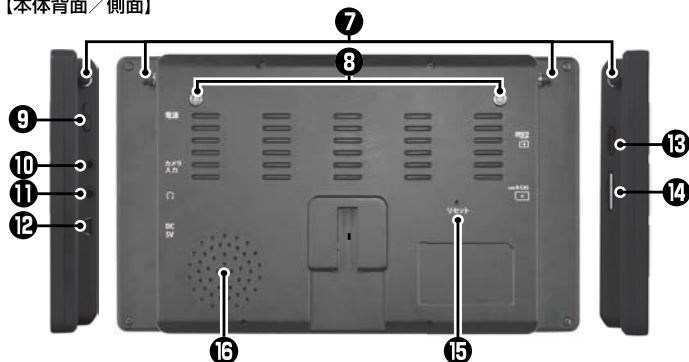
専用取付スタンド

スタンド固定シート

落下防止ストラップ

mini B-CASカード
※「mini B-CASカード」は台紙より取り出して本体に組み込んでご使用ください。

マップマニュアル
取扱説明書 兼 保証書（本書）

各部の名称

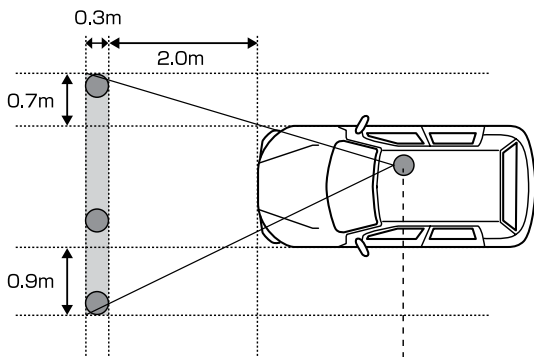
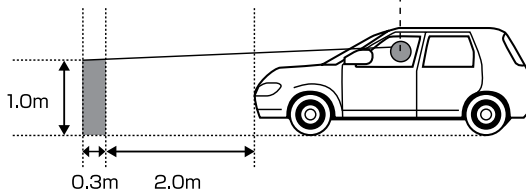
【本体正面】

【本体背面／側面】

① 充電表示ランプ　　充電中は赤、完了するとランプが消えます。
② 音量/縮尺(選局)ボタン　　機能によって切り替えて使えます。
③ + / − ボタン　　音量/縮尺/選局に使えます。
④ 現在地ボタン　　ナビ切替とナビを起動します。
⑤ メニューボタン　　メインメニューを表示します。
⑥ テレビボタン　　テレビ切替とテレビを起動します。
⑦ ロッドアンテナ　　テレビを視聴するときに引き出して使います。
⑧ フィルムアンテナ端子　　オプションの専用フィルムアンテナを接続します。(別売)
⑨ 電源スイッチ　　電源をON/OFFします。
⑩ カメラ入力端子　　専用カメラ入力ケーブル(別売)にてカメラ映像を入力できます。(映像のみ)
⑪ イヤホン端子　　3.5mm ステレオミニジャック
⑫ 電源端子　　専用シガー/AC電源アダプターを接続します。
⑬ Micro SDスロット　　マルチメディア再生、ワンセグ録画使用時にMicro SDカードを挿入します。
⑭ mini B-CASスロット　　付属のmini B-CASカードを挿入します。
※mini B-CASカードを正しく挿入しないと、地デジを観ることはできません。
⑮ リセットボタン　　本体をリセットする時に押します。
⑯ スピーカー　　モノラルスピーカー

取り付ける前に必ずお読みください

ナビゲーションの取付位置について

国土交通省の定める道路運送車両の保安基準にて、下記の範囲内の視界を確保することが義務付けられています。
ダッシュボード上に機器を取り付ける際は、下記イラストのように、運転手の視界を妨げないように取り付けてください。

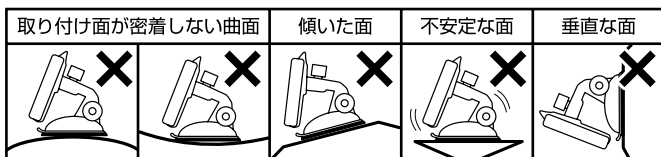
前方視界基準

- **対象車両**
  ① 専ら乗用の用に供する自動車（乗車定員11人以上のものを除く。）
  ② 車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車
- **基準概要**
  自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱（6歳児を模したもの）を鏡等を用いず直接視認できること。

【取り付け時の注意事項】

 運転操作や視界の妨げになる場所には絶対に取り付けないでください。

 エアバッグの動作を妨げる場所には絶対に取り付けないでください。

- 下記のような場所には絶対取り付けないでください。

取り付け面が密着しない曲面	傾いた面	不安定な面	垂直な面

- 車内の上方向、前方向に遮蔽物のない位置に設置してください。
- 本製品をフロントガラスに取り付けないでください。
  必ずダッシュボード(樹脂製に)取り付けてください。
- 革張りのダッシュボードには絶対に取り付けないでください。
- ラジオや車内の電子機器との距離が近いと本製品が誤動作する場合があります。
  必ず取り付けの前に動作確認を行ってください。
- 動作確認の際には必ず安全な場所に車を停止させ、パーキングブレーキをかけてから行ってください。
- 取り付ける前にテレビアンテナをのばし、(テレビアンテナについて→P.18)
  フロントガラス等に当たらないことを確認してください。
- 極端な温度変化のある場所や、湿度の高い場所に設置をしないでください。
  結露を起こし、故障、火事等の原因となる可能性があります。
- 本製品は必ずスタンド固定シートの上に設置してください。
- スタンド固定シートの貼り付けは1回のみです。貼り直しはできません。
- スタンド固定シートをダッシュボードからはがす際に、ダッシュボードの変質･変色、ダッシュボードを傷めたり破れたりすることがあります。
- 本製品に付属の部品以外は使用しないでください。
- スタンド固定シートを貼る位置を決定したら、密着させるためにダッシュボードをクリーニングしてください。
- 誤った取り付け方、誤った場所に取り付けたことにより発生する製品並びに車の異常は当社では一切の責任を負いかねます。

取り付け方

1.ナビ本体に専用取付スタンドを取り付ける

ナビ本体は背面の凹みに専用取付スタンドをはめて、スライドして固定します。
取り付け後、きちんと固定されていることを確認してください。

図の向きで専用取付スタンドを
上にスライドさせて固定します。

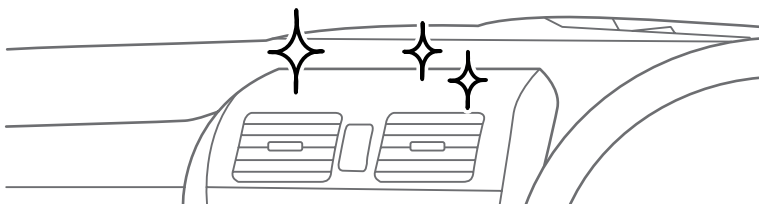
ナビ本体に取り付ける部分が
縦になっているかを確認してください。

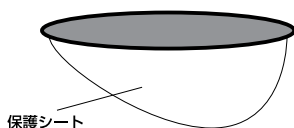
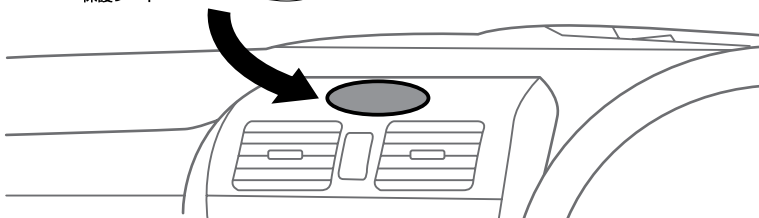
もし、縦になっていない場合には
角度調節ネジを緩めて、
縦に調節してから本体に取り付けて
ください。

注意：取り付けは必ずエンジンを切った状態で行ってください。
取り付ける前に必ず前面の保護フィルムを外してください。

取り付け方

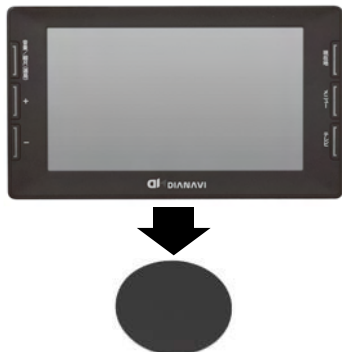
2.スタンド固定シートを設置する

1. 本体を設置する場所を選び、きれいに拭いてください。
（7~8ページの注意事項を必ずご確認ください。）

・必ずダッシュボードの上に設置してください。革張りのダッシュボードやフロントガラスには取り付けないでください。
・エアコンの風が直接当たるところに設置すると結露を起こす可能性があります。風が当たらないところに設置してください。

2. スタンド固定シート（片面が強粘着シールになっています。）必ず保護シートをはがし、設置場所にきちんと貼り付けてください。

・スタンド固定シートの貼り付けは1回のみです。貼り直しはできません。
・スタンド固定シートをダッシュボードからはがす際に、ダッシュボードの変質・変色や、ダッシュボードを傷めたり破れたりすることがあります。

注意：取り付けは必ずエンジンを切った状態で行ってください。

3.設置する

1. 専用取付スタンド吸着面の保護シートをはがし、スタンド固定シートに本体を取り付けた専用取付スタンドを強く押し付けてください。

2. 専用取付スタンドのレバーを押し下げ、しっかり固定します。固定した後、簡単に外れないか必ず確認してください。

注意：取り付けは必ずエンジンを切った状態で行ってください。
突起部やレバーなどで指を怪我しないようにご注意ください。
ちから任せに押し込むと破損の原因になります。
必要以上に、ちからをかけないようにご注意ください。

専用取付スタンドの取り外し方

■専用取付スタンドの取り外し方

⚠ 長時間、高温・直射日光にさらされる場所や湿度の高い場所への設置、車内への放置は故障の原因となります。使用しない場合は必ずスタンドごと外して保管してください。

1. 専用取付スタンドのレバーを引き上げ、固定を解除します。

2. スタンド固定シートから吸盤をはずす際には、取り外し用タブをつまんで徐々に引き上げると外れます。
   ※吸盤の粘着力が強いのでご注意ください。

注意：取り外しは必ずエンジンを切った状態で行ってください。
突起部やレバーなどで指を怪我しないようにご注意ください。
ちから任せに押し込むと破損の原因になります。
必要以上に、ちからをかけないようにご注意ください。

専用取付スタンドの調節方法

スタンドの角度、向きの調節などを行います。

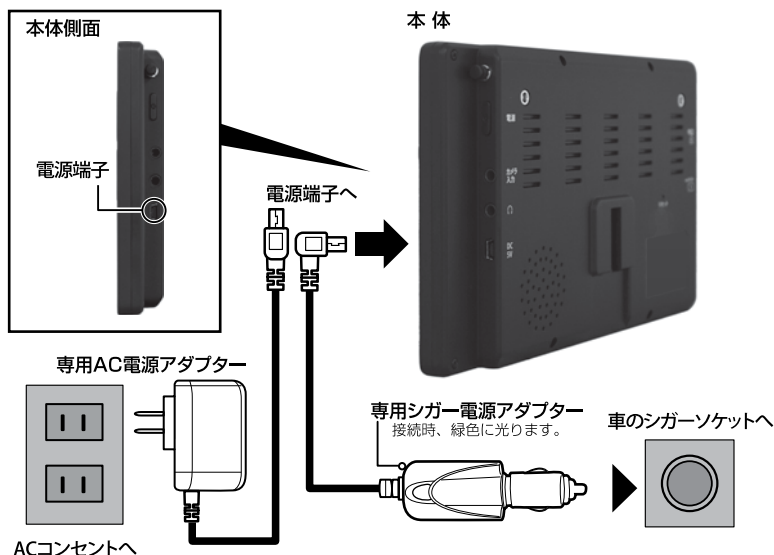
角度調節ネジ

上下の角度の調節を行います。
左右の角度の調節を行います。

- ネジを緩めすぎないでください。破損の原因となることがあります。
- 固定するときはネジをしっかり締めてください。調節を行った後、がたつきがないか必ず確認してください。
- 運転中見やすく、外部からの光が画面に反射しない位置で固定してください。

注意：運転中には調節しないでください。

専用シガー／AC電源アダプターの接続

本製品は専用電源アダプターに接続することによって本体の電源が自動でON/OFFする仕様です。
下図のように接続します。

必ずエンジン始動後にシガーソケットに挿入してください。

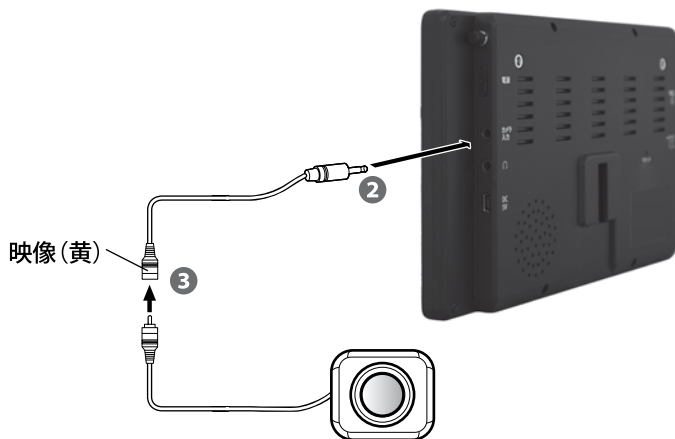
- シガーソケットの中に異物がないか確認してからシガーソケット電源アダプターを入れてください。
- 本製品はDC12~24V対応です。シガーソケット形状（外国車等）によっては使用できない場合があります。
- 付属の専用シガーソケット電源アダプター、専用AC電源アダプター以外の電源ケーブルは、故障の原因となりますので絶対に使用しないでください。
- 付属の専用シガーソケット電源アダプター、専用AC電源アダプターは本製品専用です。他のUSB機器には使用できません。

※エンジンキーをオフにしても電源がオフにならない車種の場合は、本製品を使用しない時、必ずシガーソケット電源アダプターを車のシガーソケットから抜いてください。抜き忘れると本製品の電源が切れずに車のバッテリーが上がる原因となります。

注意：運転中には接続しないでください。

カメラ入力ケーブル(別売)の接続

下図のように接続します。

本製品をバックカメラのモニターとして使用できます。
①本機および接続する機器の電源を切ります。
②本機のカメラ入力端子に専用カメラ入力ケーブル(別売)を接続します。

③機器の出力端子に専用カメラ入力ケーブル(別売)を接続します。
④本機および接続する機器の電源を入れます。
⑤映像が入力されると自動的に切り替ります。
　例)接続した機器の電源が入り映像が入力された時に切り替ります。

※バックカメラは市販の物を別途お買い求めください。
※バックカメラとして使用の場合は、「鏡像タイプ」のカメラをご使用ください。

注意：運転中には接続しないでください。

電源について

■電源の入れ方／切り方

【電源を入れる】

エンジンを始動後専用シガー電源アダプターを差しこみます。(→P.14)
電源が自動で入ります。入らない場合は電源スイッチを押します。約1秒後に起動します。
メインメニューが表示されます。
(メインメニューについては P. 22 を参照ください。)

【電源を切る】

電源スイッチを押します。
「本体の電源を切りますか?」と表示されますので、切る場合は「はい」を選択します。
切らない場合は「いいえ」を選択してください。
何も選択しない場合、約10秒後に「電源が切れます。」というメッセージが表示された後、
自動で切れます。

※電源アダプターを抜いた時も上記と同様の表示となります。

[充電方法]
専用シガー電源アダプター･専用AC電源アダプターをつなぐと本体の電源が入りますので
上記「電源を切る」で電源を切ってから、充電してください。
❶ の赤いランプが点灯し充電が始まります。
充電が完了するとランプが消えます。
充電時間は約 4時間です。
使用時間は約50分です。ナビ、テレビなど使用状況により多少前後します。

注意：走行中に操作はしないでください。
ご使用の前には必ず充電をしてください。

前面ボタンについて

前面ボタンでワンタッチ操作、インジケーターが光って安全ドライブ(右左折)をアシストします。

❶ 音量/縮尺(選局)ボタン
❷ ＋ ボタン
❸ – ボタン
❹ 現在地ボタン(ナビ)
❺ メニューボタン
❻ テレビボタン

マップのルート案内に従って前面ボタンのランプが緑/青/オレンジ色に光ります。

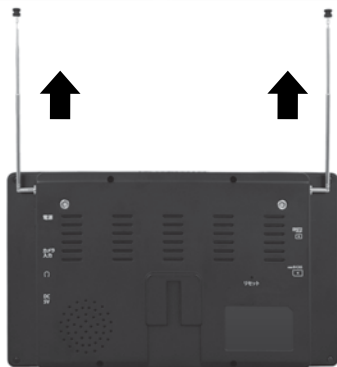
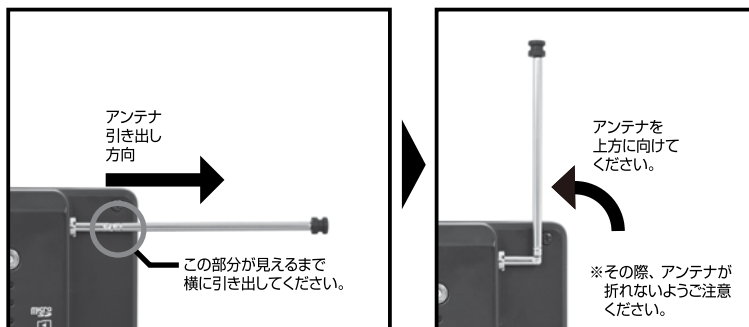
	一般道路	高速道路	都市高速
❶❹ がオレンジ	約100m以上手前	約500m以上手前	約200m以上手前
❷❺ が青	約300m以上手前	約1km以上手前	約500m以上手前
❸❻ が緑	約500m以上手前	約2km以上手前	約1km以上手前

※ルート案内時に右左折案内を音声と連動して光ります。
　例)「およそ500m先右折です。」のアナウンスが出て緑のランプが光ります。
※音声案内がない場合や一部右左折の案内時には光らない場合があります。
※高速道路の右左折以外のインター･分岐･サービスエリア等の案内は都市高速の距離に応じます。

注意：運転中には操作しないでください。

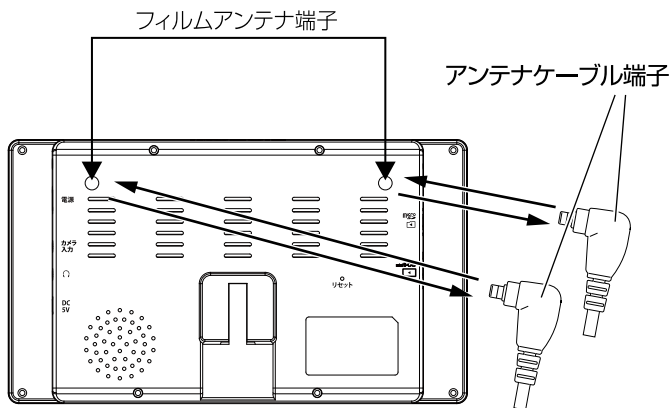
テレビアンテナについて

■テレビアンテナの引き出し方／しまい方

テレビアンテナは本体側面に収納されています。
まっすぐゆっくりとアンテナ全部を引き出します。
しまう時もまっすぐゆっくり押し込んで、奥まで入れてください。

テレビ放送の受信感度は受信される地域により変化します。正常に受信できない場合は位置の移動をお試しください。

注意：テレビアンテナを無理に引っ張ったり、無理に折り曲げたりしないでください。

専用フィルムアンテナの接続（別売）

■アンテナ端子への取り付け／取り外し

アンテナ端子の向きを確かめて、アンテナケーブル端子をフィルムアンテナに接続します。

※アンテナケーブル端子を外す場合は、アンテナケーブル端子の根元部分を持ち、アンテナケーブルを外してください。

※専用フィルムアンテナ（別売）につきましては、フィルムアンテナに同封しております取扱説明書をご覧ください。

mini B-CASカードについて

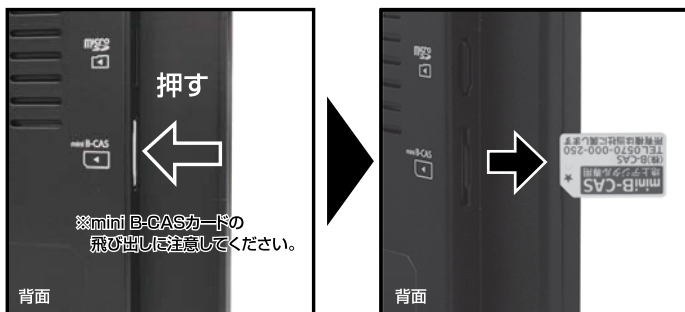
■mini B-CASカードの入れ方／出し方

mini B-CASカードの抜き差しは必ず電源を切った状態で行ってください。

【mini B-CASカードを入れる】

電源が切れていることを確認してから mini B-CASカードをスロットに差し込みます。
※mini B-CASカードの金属端子部分が画面側を向くように差し込みます。
※mini B-CASカードの金属端子部分には触れないようにしてください。

【mini B-CASカードを取り出す】

エンジンを切り、電源が切れていることを確認してから、mini B-CASカードの中央を一回押してから取り出します。
※mini B-CASカードの金属端子部分には触れないようにしてください。

注意： 走行中には mini B-CASカードの抜き差しをしないでください。

■mini B-CASカードについて

- 付属のmini B-CASカードは地上デジタル放送受信に必要です。常に本機に挿入してお使いください。
- 破損などによりmini B-CASカードの再発行が必要になった場合は（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズまでご連絡ください。
（カスタマーセンター連絡先はmini B-CASカードにも記載されております。）
- mini B-CASカードについてのお問い合わせは、以下の窓口にお願いします。

（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
カスタマーセンター　TEL：0570-000-250

■mini B-CASカード取り扱い上のご注意

- ご使用中または保管中のmini B-CASカードは紛失や盗難などに十分注意してください。もしも、他の人がお客様のmini B-CASカードを使用して有料番組を視聴すると、視聴料がお客様に請求されることがあります。
- mini B-CASカードを折り曲げたり、変形させたり、キズをつけたり、熱を加えたり、水に浸けたりしないでください。
- mini B-CASカードの上に物を置いたり、踏みつけたりしないでください。
- mini B-CASカードの金属部分（集積回路）には手を触れたり、水などで濡らさないでください。
- mini B-CASカードは分解、加工しないでください。
- mini B-CASカード挿入口には、本機に付属しているmini B-CASカード以外のものを挿入しないでください。
- 本機ご使用中は、mini B-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。万一、mini B-CASカードを抜き差しの必要がある場合は、本機の電源を切ってから、ゆっくりと抜いてください。
- mini B-CASカードには IC（集積回路）が組み込まれているため、画面にmini B-CASカードに関するメッセージが表示された時以外は、mini B-CASカードの抜き差しをしないでください。

メインメニュー画面

メインメニュー

❶ ナビ

ナビソフトを起動します。
※ナビソフト使用方法は別冊マップマニュアルをご参照ください。

❷ マルチメディア（操作方法について→P.25）

音楽再生、ビデオ再生、写真表示ソフトを起動します。

❸ テレビ（操作方法について→P.32 ）

テレビ視聴ソフトを起動します。

❹ 設定（操作方法について→P.41）

バックライト設定、音量設定、タッチスクリーン補正、システム情報確認など
各種設定を行います。

マルチメディアメニュー画面

メインメニュー画面に戻る

マルチメディアメニュー（詳細／操作方法について→P.25）

❶ **動画再生**（操作方法について→P.29）
Micro SDカード内の動画（AVI、MP4)を再生します。

❷ **音楽再生**（操作方法について→P.30）
Micro SDカード内の音楽（MP3)を再生します。

❸ **写真表示**（操作方法について→P.31）
Micro SDカード内の画像（JPG、BMP、PNG)を再生します。

※動画再生/音楽再生/写真表示を利用するには別途Micro SDカードをご用意ください。

設定メニュー画面

メインメニュー画面に戻る

設定メニュー（詳細／操作方法について→P.39）

❶ バックライト設定

バックライトの設定を行います。

❷ 音量設定

動画再生／音楽再生／ナビ／テレビ視聴時の音量の設定を行います。
※ナビ初回起動時はナビの設定音量に変わりますので、その後適正な音量に調整してください。

❸ タッチスクリーン補正

タッチスクリーン補正を行います。

❹ システム情報

システム情報確認、工場初期化を行います。

マルチメディア機能について

マルチメディア機能とは、動画再生／音楽再生／写真表示に関する機能です。

■マルチメディア機能を使用する前に

- 動画再生／音楽再生／写真表示を利用するには、別途 Micro SDカードをご用意ください。Micro SDカード内に「Movie」、「Music」、「Photo」の名前のフォルダーを作成してください。
  各フォルダーの作成が終わったら、該当フォルダーに対応ファイルの動画、音楽、写真データをコピーしてご使用ください。
  （フォルダーを作成しないでデータをコピーした場合には、MicroSDカード内に各フォルダーが自動で生成されます。）

- Micro SDカードの種類によっては認識しない場合があります。予めご了承ください。

- マルチメディア機能のデータは、お手持ちのパソコンで追加、削除を行ってください。
  ナビ本体にはデータの削除機能はありません。
  パソコンの操作方法はパソコンの説明書、各種参考書籍をご確認ください。

- Micro SDカードの抜き差しは必ずマルチメディアを終了した状態で行ってください。

- 走行中はタッチスクリーン操作をしないでください。

対応ファイル形式一覧

動 画	AVI、MP4
音 楽	MP3
画 像	JPG、BMP、PNG

※動画、画像の解像度の推奨サイズは800×480pixelとなります。
フレームレートやビットレートが高いファイルの場合、コマ落ち等、十分な再生が行えない場合がございますのであらかじめご注意をお願いいたします。

Micro SD カードについて

■Micro SDカードの取り扱い方

Micro SDカードの抜き差しは必ず電源を切った状態で行ってください。

本製品は32GBまでのMicro SDカード/Micro SDHCカードに対応しています。

※製品の性質上、すべての環境、組み合わせの動作を保証するものではありません。

マルチメディア機能を使用する場合、Micro SDカードを別途ご用意ください。

- マルチメディア機能のデータは、お手持ちのパソコンで追加、削除を行ってください。
  ナビ本体にはデータの削除機能はありません。
  パソコンの操作方法はパソコンの説明書、各種参考書籍をご確認ください。
- 直射日光や湿気の多い所を避けて保管してください。
- 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。
- Micro SDカードに強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどはしないでください
- データの入っているMicro SDカードを接続する場合は、不測の事態に備えてデータのバックアップを必ず行ってください。
- 使用しない時はケースなどに入れて大切に保管してください。

注意：マルチメディア再生およびワンセグ録画の途中でMicro SDカードの抜き差しをしないでください。
データ破損の原因となります。

Micro SD カードについて

■Micro SDカードの入れ方／出し方

Micro SDカードの抜き差しは必ず電源を切った状態で行ってください。

【SDカードを入れる】

本製品の電源が切れていることを確認してからMicro SDスロットにMicro SDカードを図の向きに差し込みます。

【SDカードを取り出す】

本製品の電源が切れていることを確認してから、Micro SDカードの中央を一回押して取り出します。

注意： マルチメディア再生およびワンセグ録画の途中でMicro SDカードの抜き差しをしないでください。データ破損の原因となります。

動画再生／音楽再生／写真表示の手順

1. 動画、音楽、写真ファイルが入った Micro SDカードを挿入してから、電源を入れ、メインメニュー画面から『マルチメディア』を選択します。

2. マルチメディア画面から使用したい項目を選びます。

（例：写真表示）

3. Micro SDカード内に書き込まれたファイルが右のリストに表示されます。

動画再生画面について（→P.29）
音楽再生画面について（→P.30）
写真表示画面について（→P.31）

※表示されない場合、各ファイルがフォルダーに格納されているか確認してください。

写真を見る場合

動画再生をする

動画再生画面

① マルチメディア画面に戻る

② 再生/一時停止する

③ 停止する

④ 動画の最初に戻るか
前の動画を再生する

⑤ 次の動画を再生する

⑥ 消音にする

⑦ 音量調整

⑧ 前のページに戻る

⑨ 次のページに進む

※ データーは400件までの対応となっております。400件以上は入れないでください。

注意：運転中は画面を注視しないでください。

音楽再生をする

音楽再生画面

① マルチメディア画面に戻る

② 再生/一時停止する

③ 停止する

④ 曲の最初に戻るか
前の曲を再生する

⑤ 次の曲を再生する

⑥ 消音にする

⑦ 音量調整

⑧ 前のページに戻る

⑨ 次のページに進む

※ データーは400件までの対応となっております。400件以上は入れないでください。

注意：運転中は画面を注視しないでください。

写真表示をする

写真表示画面

① マルチメディア画面に戻る

② 拡大する

③ 縮小する

④ 画像を時計周りに90°回転させる

⑤ スライドショー

⑥ 前のページに戻る

⑦ 次のページに進む

※ データーは400件までの対応となっております。400件以上は入れないでください。

注意：運転中は画面を注視しないでください。

テレビ視聴の前に

■地上デジタル放送について

地上デジタル放送は、今までのアナログ UHF 放送帯域を使用して、デジタルの特徴であるゴーストのない鮮明な画像と、高音質、データ放送などの多チャンネル放送などを実現しています。

地上デジタル放送のイメージ

1 チャンネル分＝13 セグメント（区分）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
地上デジタル放送	HDTV放送時（12セグメント）												
	SDTV放送時（4セグメント）									3チャンネル放送可			
ワンセグ放送							（1 セグメント）						

■ワンセグについて

「ワンセグ」は地上デジタル放送の１セグメント分を利用して、主に携帯・移動体向けにサービスを開始している放送です。「ワンセグ」は通常地上デジタルテレビと同じ放送をしています。また、「ワンセグ」は地上デジタル放送に比べ、画質は劣るものの受信エリアが広く安定した画像と音声が楽しめます。

- 地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で２００３年１２月から開始され、その他の地域でも２００６年末までに放送が開始されています。「ワンセグ」は、２００６年４月に開始され、地上デジタルテレビの放送地域拡大により、順次受信可能なエリアが拡大されています。ただし、放送局によっては、「ワンセグ」が放送されない場合もあります。
- 地上デジタル放送の詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。

社団法人　地上デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp

■緊急警報放送について

- 緊急警報放送とは
  大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。
  本機能は、地上デジタル放送視聴時のみの機能です。
- 緊急警報放送受信時の動作
  本機は、視聴中の放送局で緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送のチャンネルに切り替ります。
  緊急警報放送終了後は、切り替ったチャンネルのままです。元のチャンネルには自動では戻りません。

■デジタル放送の受信について

- デジタル放送では受信状態が悪くなると音声が途切れたり、画像が止まったり、またはブロックノイズが出たりすることがあります。
- 番組にコピーガードが掛かっている放送を録音機器を通して接続すると、正常に受信できないことがあります。
- 本機の受信周波数帯域（４７０MHz~７７０MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を本体やアンテナ、アンテナ・ケーブルの近くで使用すると映像や音声に不都合が生じることがあります。その場合はそれらの機器を離してご使用ください。

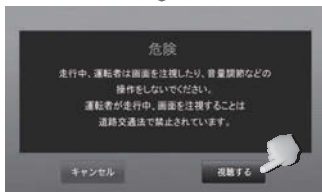
■テレビの視聴に関してのご注意

- 本製品のテレビ受信可能エリアは家庭用サービスエリアより狭くなります。
受信可能エリア外に出た場合、トンネル内や地下、ビルなどの建物の陰では受信できなくなるため、画面がモザイク状のまま表示されない、または「受信感度が弱いため、受信できません」と表示されることがあります。
- 走行地域や走行速度、天候の影響で受信感度が落ちることがあります。
- 山かげや木立の陰など、樹木が密集している場合には受信感度が落ちることがあります。
- 高圧線、電車の架線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサイン、無線搭載の車などの近くでは、ノイズが入ったり映像が乱れたりすることがあります。
- 周辺の障害物などの影響により、放送受信エリアでも受信できない場合があります。
また、それらの影響によって、他のフルセグ、ワンセグ受信機器が受信可能なエリアであっても、受信できない場合があります。
- 停車中でも周辺環境の変化により受信感度が落ちることがあります。
- 車内でパソコンや携帯電話などの電子機器を使用すると、それらの機器の影響を受けて受信感度が落ちる場合があります。
- 車両の搭載機器（電動ドアミラー、パワーウィンドウ、エアコン、電動サンルーフ、ドライブレコーダーなど）動作している場合、それらの機器の影響を受けて受信感度が落ちたりノイズが混ざる場合があります。
- ミラーフィルム、蒸着フィルムなどの電波不透過フィルムを施工したガラスや熱線ガラスのある車種の場合には、受信感度が極端に低下します。
- 車種によって、取り付けられない場合や性能が発揮できない場合があります。

テレビを視聴する前の準備

1.電源を入れてから、本体側面のテレビアンテナを引き伸ばします。
(テレビアンテナについて → P.18)

※テレビアンテナを無理に引っ張ったり、無理に折り曲げたりしないでください。破損、故障の原因となります。

2.メインメニュー画面から『テレビ』を選択します。
または、前面ボタンの『テレビ』を選択します。

3.テレビが起動すると警告文が表示されます。走行中でない場合は『視聴する』を選択してください。

4.放送局をスキャンしテレビを視聴してください。

前回、放送局スキャンをした場合には通常3.の後にテレビ視聴ができます。
(→P.37)

注意：運転中は操作しないでください。

テレビ視聴をする

・テレビ放送の受信感度は受信される地域により変化します。本体が正常でも受信できない場合がありますのでご了承ください。
・運転中は操作しないでください。

テレビ操作画面

① スキャンを開始する
② テレビ設定画面を開く
③ 番組表を開く
④ 消音にする
⑤ 音量調整をする
⑥ メインメニュー画面に戻る
⑦ フルセグ／ワンセグを表示する
⑧ 受信可能なチャンネルをリストの上に切り替える
⑨ 受信可能なチャンネルをリストの下に切り替える

※放送局名をタッチすると選局できます。
※テレビ視聴中、画面をタッチすると全画面表示(画面比率16:9)へ切り替えられます。再度タッチすると戻ります。

注意： 運転中は操作しないでください。

放送局をスキャンする

1.『スキャン』を選択して放送局をスキャンしてください。

※スキャンに時間がかかる場合があります。

2.放送局スキャンが開始されます。

3.スキャンが終わると、受信した放送局リストが右の放送局リストに表示されます。

4.視聴したい放送局を選択してテレビを視聴してください。

注意：運転中は操作しないでください。

テレビ設定について

ここではテレビの設定項目「音声設定」「字幕設定」について説明します。

『設定』を選択すると設定メニューが表示されます。

右上の × ボタンで設定を終了できます。

注意： 運転中は操作しないでください。

設定項目

■音声設定

音声設定をします。
主音声/副音声/主音声+副音声の切替が可能です。
初期設定は「主音声」になっています。

■字幕設定

字幕設定をします。
字幕を表示する/表示しないの切替が可能です。
初期設定は「表示しない」になっています。

番組表について

■番組表を表示する

テレビ操作画面で『番組表』を選択してください。

番組表

① 放送日時

② 番組名

③ 放送局サブチャンネル（サイマル放送等）

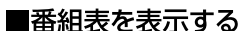
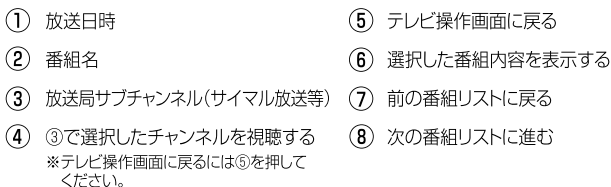
④ ③で選択したチャンネルを視聴する
※テレビ操作画面に戻るには⑤を押してください。

⑤ テレビ操作画面に戻る

⑥ 選択した番組内容を表示する

⑦ 前の番組リストに戻る

⑧ 次の番組リストに進む

※③の放送局サブチャンネル（サイマル放送等）は番組表から入って選択してください。すべてのサイマル放送等に対応しているものではありません。
※番組表および番組情報は実際の放送とは異なることがあります。

注意：運転中は操作しないでください。

設定について

ここでは設定項目「バックライト設定」「音量設定」「タッチスクリーン補正」「システム情報」について説明します。

電源を入れ、メインメニュー画面から『設定』を選択すると設定画面が表示されます。

設定項目

■バックライト設定

バックライト設定（画面の明るさの調整）を行います。

■音量設定

動画再生／音楽再生／ナビ／テレビ視聴時の音量の設定を行います。
※ナビ初回起動時はナビの設定音量に変わりますので、その後適正な音量に調整してください。

■タッチスクリーン補正

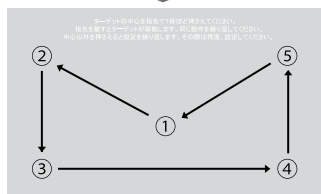
タッチスクリーン補正を行います。

■システム情報

システム情報確認、工場初期化を行います。

タッチスクリーン補正

タッチスクリーンが正しく動作するように、画面をタッチして位置補正を行います。

「ここをタッチしてください。」を押してください。

①→②→③→④→⑤→①の順番で押してください。

画面の指示に従って+印の中心を順番に押してください。(5ヵ所)

終了後、
「新しい補正内容を保存します。
　画面をタッチしてください。」
というメッセージが表示されます。
画面をタッチしてください。
タッチスクリーン補正画面へ戻ります。

※先端が適度に細いものを使うと設定しやすいですが、強く押しすぎてしまったり、先が尖ったものだと画面にキズが入ったり、故障の原因となりますのでご注意ください。
調整ができなかった場合、①に戻る場合がありますので再度タッチし設定してください。

故障かな？と思ったら…

症　　　状	処　　　　置
電源が入らない	専用シガー/ AC電源アダプターが正しく接続されているかご確認ください。
	シガーソケットの内部が汚れていたり、異物がないかご確認ください。
	専用シガー電源アダプター内部のヒューズが切れていないかご確認ください。ヒューズ交換の際には専門業者またはサポートセンターにご相談ください。
画面にノイズが入る	車内の電子機器などの影響を受けている可能性があります。 製品の取り付け場所を移動して影響を受けない場所でご使用ください。
テレビを受信しない	テレビが受信できない地域の可能性があります。
	テレビアンテナを引き出してください。 → テレビアンテナについて（→P.18）
音楽、動画、写真が再生できない	Micro SDカードが正しく挿入されているかご確認ください。 → Micro SDカードについて（→P.24）
	Micro SDカード内の各フォルダーにデータファイルが正しく保存されているか、再生可能な形式であるかをご確認ください。
ナビ本体でMicro SDカードが認識できない	他のMicro SDカードでお試しください。それでも認識しない場合は、サポートセンターにご相談ください。
ナビゲーションが誤った場所を示す	ビルが密集した都心･トンネル･地下道･建物の中･鉄道や道路の高架下･木々の多い森の中･山岳地域などではGPS信号の受信ができません。 GPS信号の受信に時間がかかる可能性があります。空が見える広い場所に移動してください。
音声案内しない	音量が変更されている可能性があります。 音量調整で大きくしてください。
フリーズし タッチしても反応しない	リセットボタンを押してください。

上記で問題が改善しない場合、または部品の追加購入については

エンプレイス･デジタルサポートセンター **0570-005-051** までご連絡ください。

本体仕様一覧／アフターサービス

本体仕様

マップソフト	16GB 内蔵メモリー（マップソフト専用）
Micro SD	32GBまでの Micro SDカード・Micro SDHCカードに対応
LEDバックライト液晶	7.0 インチ TFT（WVGA） 解像度 800×480 pixel タッチパネル
内蔵スピーカー	モノラル（1W × 1）
イヤホン	3.5mm ステレオ ミニジャック
カメラ入力	3.5mm ミニジャック（専用カメラ入力ケーブル別売）
シガー電源	DC12V ～ 24V
シガーソケット電源 アダプターヒューズ	ガラス管ヒューズ（5mm×20mm）2A
動作温度	0℃～ 60℃
サイズ／重量	(W)約203mm×(H)約117mm×(D)約20mm／約400g

対応ファイル

※マルチメディア機能を使用するためには、別途 Micro SD カードが必要です。

動画	AVI、MP4	※解像度 800×480pixel 以下
音楽	MP3	
画像	JPG、BMP、PNG	※解像度 800×480pixel 以下

マップソフト

地図データ	住友電工システムソリューション株式会社製2014年度
住所登録データ	約 3,884 万件
電話番号データ	約 602 万件
周辺検索データ	約 74 万件
施設検索データ （名称検索データ）	約 680 万件
レーンガイド	一般道路　約 10 万件
方面案内	一般道路　約 11 万件
レーン看板イラスト	ETC　約 1,110 件 サービスエリア・パーキングエリア　約 560件
分岐イラスト	都市高速入口　約 670 件 高速分岐・出口　約 4,500 件 一般道測道分岐　約 1,390 件
交差点表示	2画面交差点拡大表示
地図スケール	10m ~ 100km
地図縮尺レベル	14段階
ジャンクションビュー	対応
レーン表示	対応

情報の種類	「るるぶDATA」情報提供:（株）JTBパブリッシング
観光情報	約 42,700 件
宿泊情報	約 14,200 件
温泉地情報	約　1,600 件
ご当地グルメ	250品 約 2,500件 ※「ご当地グルメ」の飲食店情報は観光情報の約42,700件中の約2,500件を収録しています。

※上記データは2014年3月末までに取材したものです。

販売元：株式会社　エンプレイス

■アフターサービス及び製品に関するお問合せは

「エンプレイス･デジタルサポートセンター」

0570-005-051 平日 午前10時から 午後5時まで（土日祝祭日、年末年始を除きます）

休日前後は電話がつながりにくい場合がございます。
その際は時間をおいてからおかけ直しいただきますようお願い致します。
アフターサービスのためにサポートセンターに商品をお送りいただく場合の送料は、保証期間内外を問わず、お客様のご負担となります。